

学修支援センター企画 「ふしぎ探検隊」 9 レポート

日時：11月13日（金）18時～20時

場所：2号館1階 学修支援センター 学習室1

内容：プラスチックのふしぎ！ ～フェイクスイーツをつくろう～

参加者：人間発達学科4年 4名、心理福祉学科1年 4名、卒業生 1名、教職員4名 計13名



今回は、心理福祉学科の宇野先生が理論編を、人間発達学科の卒業生が実践編を担当してくれました

理論編

生物の体の基本要素である C,H,O の話、CH(アルキル基)は油的 OH(水酸基)は水的である性質、プラスチックが石油(CH)を精製したナフサという物質から作られること、プラスチックの語源、加熱すると変形するという特性などを学びました。今回利用する樹脂粘土の原料である酢酸ビニル樹脂もプラスチックの一つです。

また、食品サンプルは歴史についても触れました。

実践編

理論を学んだ後は手を動かしての実践です。今話題のフェイクスイーツ（またはデコスweets）づくりです。型で作る方法（クッキー）と自分で成型する方法（マカロン・ドーナツ）の2種類の方法で作ります。

型用の「おゆまるくん」はお湯にいれると柔らかくなり、冷めると固まるという、まさしくプラスチックの特性そのものです。80℃ほどのお湯につけて柔らかくなったところで、クッキーの型をとります。

樹脂粘土は自然乾燥させると硬くなります。粘土に絵の具で色づけし、歯ブラシやつま楊枝で質感などを作り出していきます。粘土への色づけの過程で、絵の具の割合にみなさんりのこだわりがあり、手を黄色や赤に染めながら楽しそうに作業していました。

最後に

ユニークなスイーツがたくさん出来上がりました。マカロンやドーナツといってもひとつひとつが個性的に出来上がっていくので、見ていて飽きません。また、自由に作ることができて楽しかった、という学生の意見もありました。



次回は、「大気圧のふしぎ」を探検します。